

加賀市統合新病院建設基本計画

平成 24 年 8 月

加賀市

はじめに・・・

本市の救急告示病院である 2 つの市立病院（加賀市民病院、山中温泉医療センター）は、開院以来、市民に総合的な医療を提供し、地域の中核病院として重要な役割を担ってきました。しかしながら、急速な少子高齢化、人口減少、医療技術の進歩、多様化する患者のニーズなど両病院を取り巻く医療環境は大きく変化しています。

とりわけ医師・看護師不足により、両病院においては、必要な人員の確保が困難な状況となっています。

旧加賀市と旧山中町の合併後の平成 18 年には、「加賀市地域医療審議会」を設置し、「本市の医療サービスのあるべき姿」を検討しました。また、平成 23 年 2 月に専門家による「加賀市医療提供体制調査検討委員会」を設置し、市民が安心できる医療提供体制を構築するための議論を重ね、同年 11 月に「加賀市医療提供体制基本構想」を策定しました。この基本構想は、市民が安心、安全な医療が受けられる、充実した医療提供体制の構築に向けた方針を示しており、両病院の診療科を継続するとしています。さらに 4 疾病及び高齢者・周産期医療の対応強化、二次救急患者の全てを市内で受け入れる体制づくり、地域の医療機関との連携・分担、医療従事者の人材育成、働きやすい職場環境を目指すこととしています。

基本構想の内容をより具体化するために、平成 24 年 2 月に「加賀市医療提供体制推進委員会」を設置し協議を行うとともに、その下部組織である病院統合協議会、建設部会をはじめとする各専門部会、庁内作業部会において、昼夜を問わず検討を重ねてまいりました。今回策定した「加賀市統合新病院建設基本計画」は、基本理念に「おもいやり」を掲げ、新病院の病床数や新たな機能、部門別計画、建設計画や経営シミュレーション等、建設全般に関する基本的な方針を定めたものです。また、両病院の患者代表をはじめスタッフの意見はもとより、基本計画原案に対する市民意見募集結果などを踏まえ、検討した結果を反映しています。

今後は、業者選定に公募型プロポーザルを実施し、本計画を踏まえて、設計者・施工者から優れた提案がなされることを期待するものです。平成 28 年 4 月の開院に向けて、市民に信頼され最適な医療を提供する統合新病院の整備を進めてまいります。

平成 24 年 8 月 22 日

加賀市長 寺前 秀一

目 次

1	統合新病院の基本理念	1
2	統合新病院整備の基本方針	2
3	部門別計画	3
3-1.	外来部門	3
	①外来 ②救急	
3-2.	診療部門	9
	①手術 ②放射線 ③検査・輸血 ④内視鏡 ⑤透析 ⑥リハビリテーション	
3-3.	病棟部門	21
	①一般病棟 ②回復期リハビリテーション病棟 ③分娩・周産期	
3-4.	管理部門	29
	①管理運営 ②福利厚生 ③地域連携	
3-5.	供給部門	34
	①薬剤 ②中央材料 ③栄養	
3-6.	共用動線	39
3-7.	その他	40
	①健診センター ②アメニティ設備 ③保育事業 ④災害時対応 ⑤医療安全対策 ⑥感染対策	
4	医療機器等整備計画	47
5	医療情報システム計画	50
6	物品供給管理システム計画	53
7	建設計画	54
7-1.	統合新病院の規模	55
7-2.	配置計画	57
7-3.	建物の構成	59
7-4.	構造計画	61
7-5.	設備計画	62
7-6.	交通計画	64
7-7.	建設スケジュール	65
8	統合新病院の経営シミュレーション	66

参考資料	7 4
1 加賀市医療提供体制推進委員会 統合新病院建設部会	7 4
1-1. 委員名簿	7 4
1-2. 検討経過	7 5
2 用語解説	7 7

(本文中の※印は用語解説があることを示す)